

2 新東名で古墳発見！

古墳時代は、3世紀中頃から7世紀頃までの約350年間の時代です。古墳（盛土をした古代の墓）が多く築かれます。

一般的に、地方に前方後円墳が出現するのは、地方の有力者（被葬者）が中央勢力との政治的な結びつきを持っていたことを示し、それ以外の中小の古墳はこれに従う者が葬られたと考えられています。

しかし、志太地域では、古墳時代前～中期には前方後円墳はみられず、前・中期では20m以下の円墳や方墳が主体となります。志太地域は、前方後円墳を頂点とした階層構造に馴染みにくい事情があったようで、前方後円墳が築かれるようになるのは、古墳時代後期に入ってからです。この頃には、横穴式石室墳が爆発的に築かれるようになり、そこに葬られた人々は、窯業をはじめとした地域経営にも関与していたと考えられます。

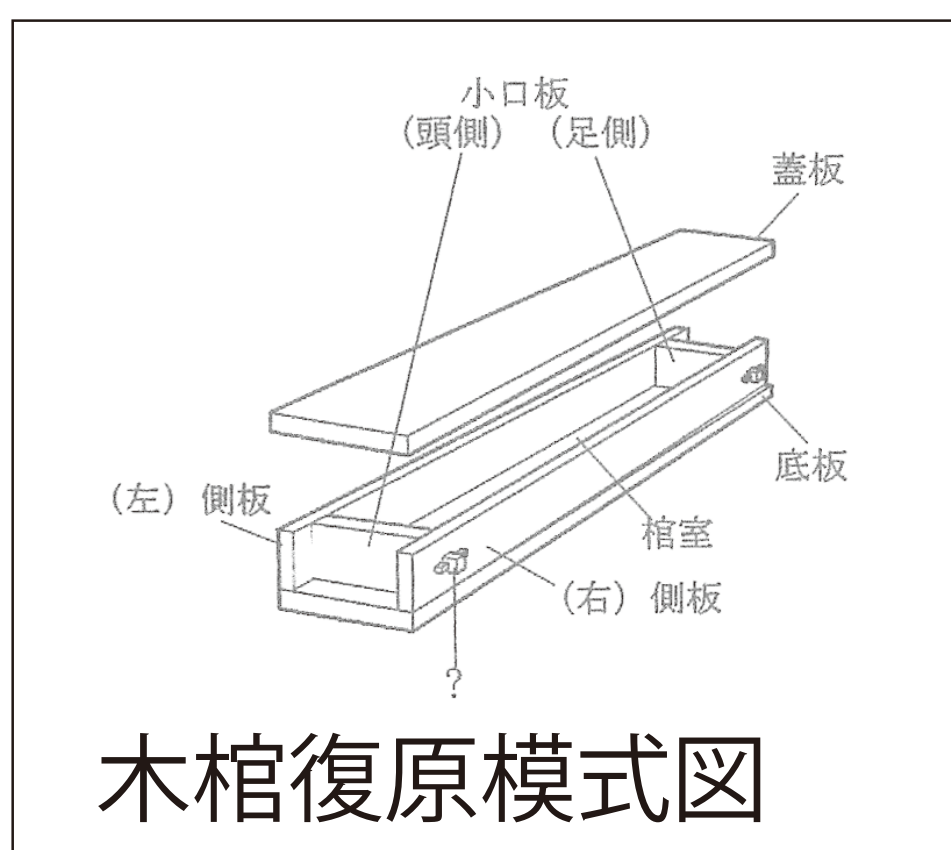
新東名関連調査により、藤枝市内の古墳前期～後期までの各時期の古墳の例が新たに加わり、地域を統率していた有力者の姿を考える上で参考となる成果になりました。

前期～中期の古墳

てらしま おお や

寺島大谷 1 号墳（寺島トンネル東付近）

古墳時代前期後半頃に造営された木棺直葬の埋葬施設を持つ古墳で、墳丘の形状は方墳あるいは円墳である可能性が高いものです。主体部からは折曲げられた鉄剣、短冊形鉄斧・ヤリガンナなどの貴重な遺物が出土しています。



はなぐら おお や なぎ

花倉大柳古墳（藤枝パーキング下り付近）

独立した丘陵上に単独で造営された木棺直葬の円墳であり、埋葬施設には割竹形木棺が採用されています。木棺内からの出土遺物はなく、木棺上部と周溝内部から土師器片が出土しました。埋葬施設の形態および出土遺物から、古墳時代前期後半～中期前半頃に築造されたと考えられます。



寺島大谷 1 号墳



花倉大柳古墳平面図

後期の古墳

衣原 11 号墳（藤枝パーキング上り付近）

墳丘は失われていたものの、横穴式石室を埋葬施設とする古墳を発掘しました。6 世紀第 3 四半期に初葬が行われ、6 世紀末と 7 世紀前半に追葬があったことが分かっています。石室内からは副葬品がまとまって出土しました。中でも副葬品に馬具や装飾大刀が含まれること、横穴式石室が 6 世紀後半における当地の有力墳に採用される形態であることを考えると、11 号墳の被葬者は、階層が高く、古墳群の東側山裾に所在する寺家前遺跡や、衣原古窯群との関わりが深い人物と考えられます。

なか の こう

中ノ合イセ山古墳群（藤枝パーキング上りから東京方面寄り付近）

古墳を 2 基検出しました。出土遺物が乏しく時期決定は困難ですが、古墳時代後期の古墳と判断されます。

いり の ひ が し

入野東 9 号墳（藤枝岡部 IC 付近）

横穴式石室を埋葬施設にもつ 7 世紀末～8 世紀の古墳です。残存状況は悪いものの、石室内外から須恵器が出土しています。



衣原 11 号墳



衣原 11 号墳石室



衣原 11 号墳石副葬品



衣原 11 号墳石副葬品拡大



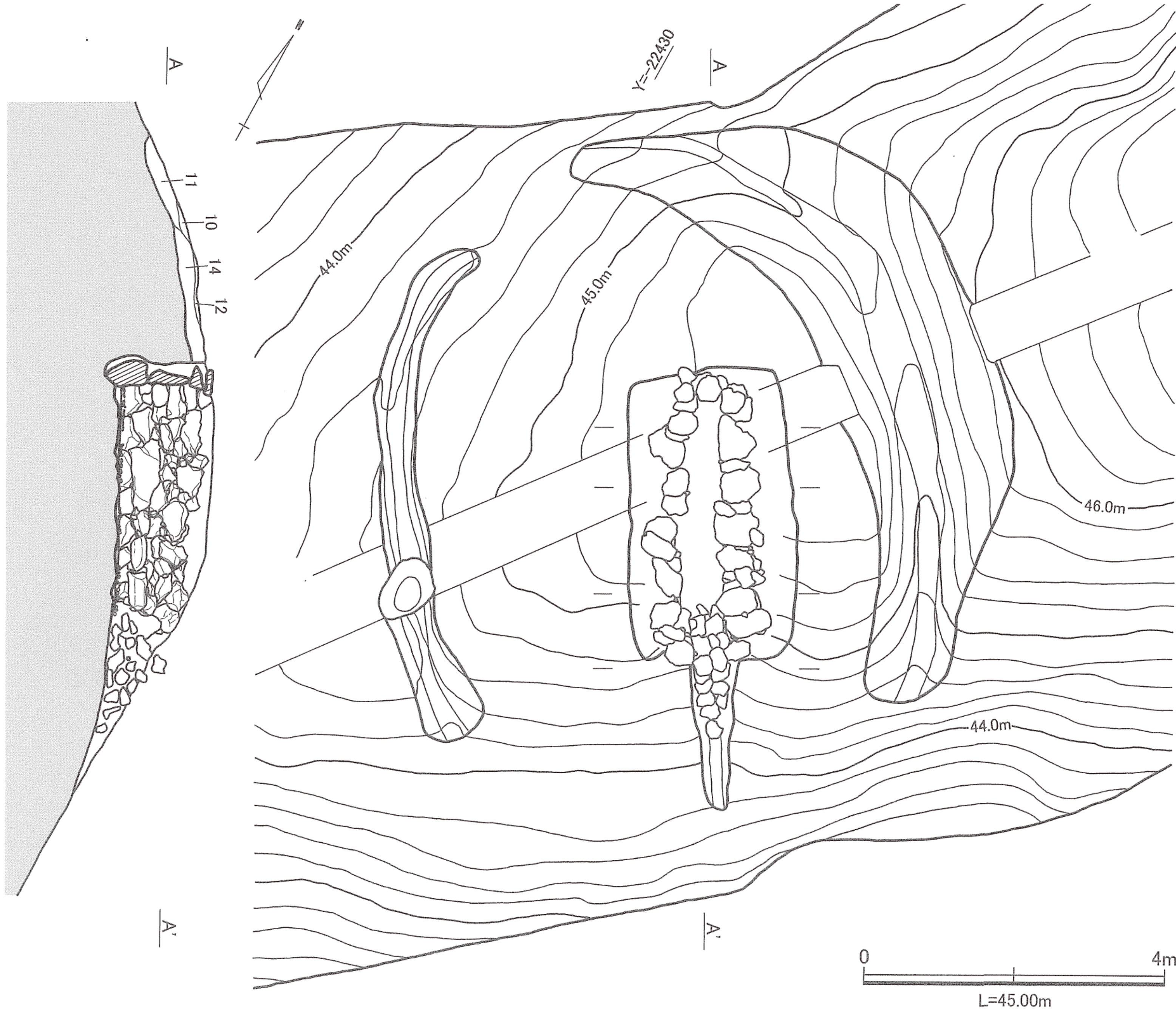
衣原 11 号墳平面図



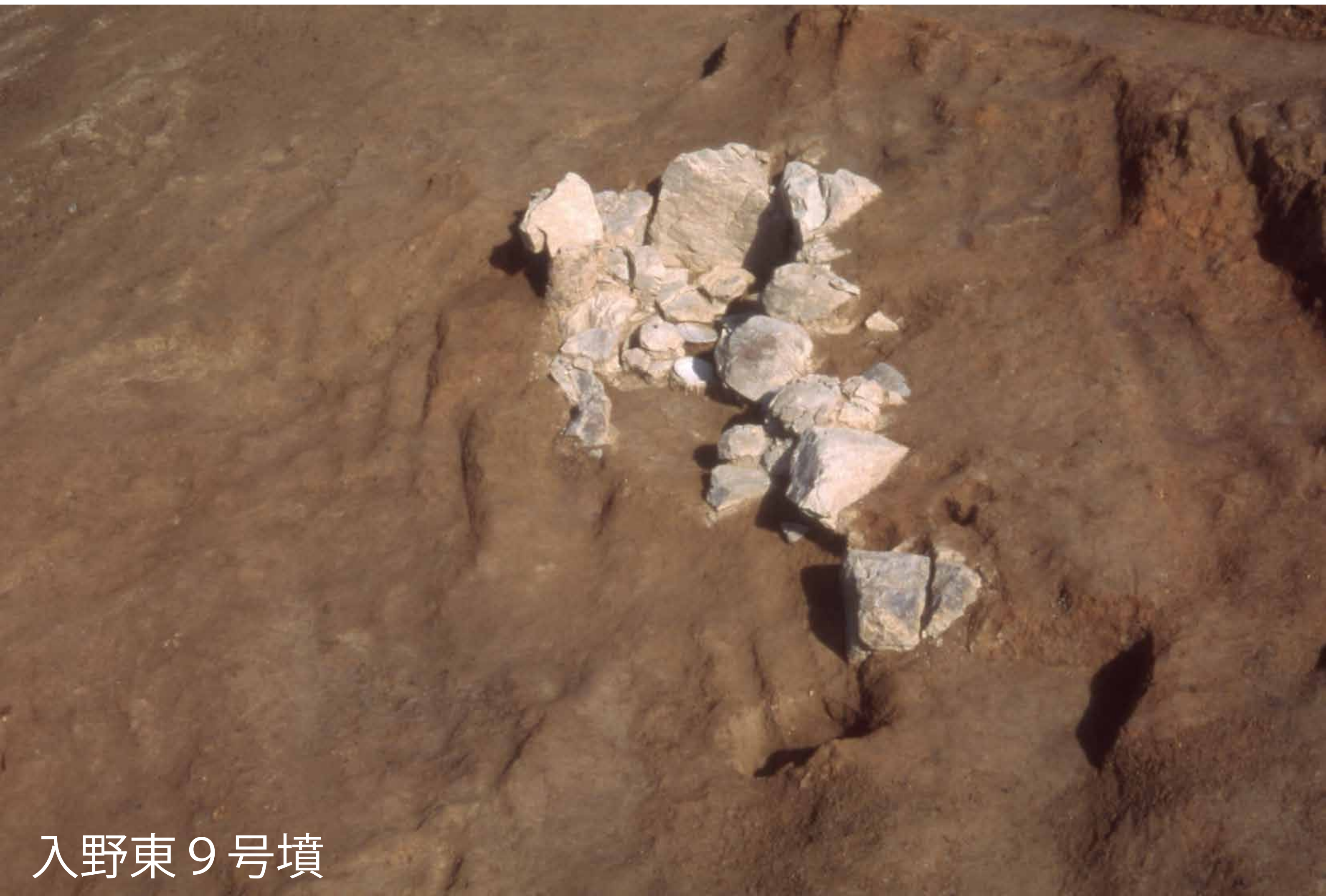
中ノ合イセ山1号墳



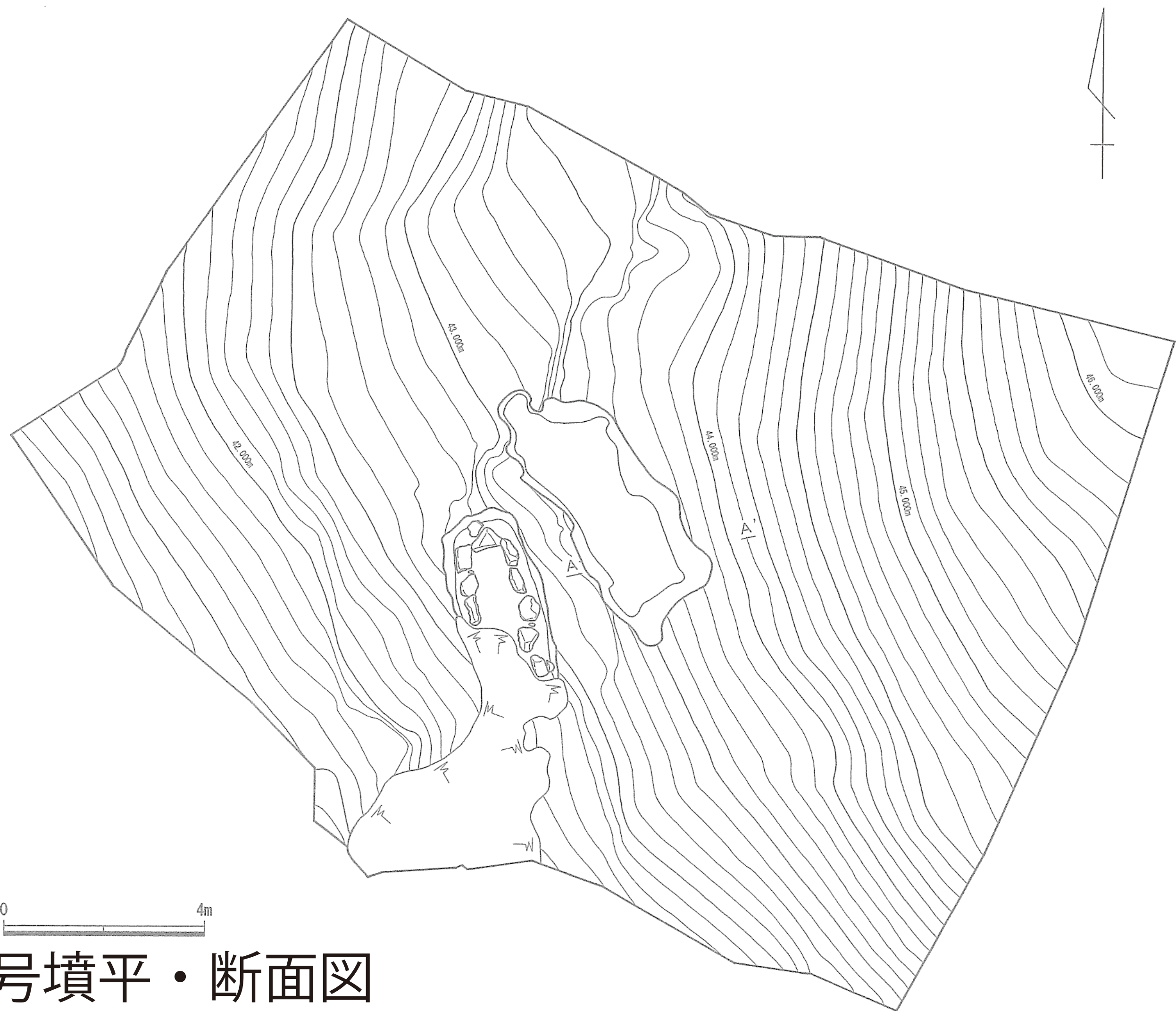
中ノ合イセ山2号墳



中ノ合イセ山 1 号墳平・断面図



入野東 9 号墳



入野東 9 号墳平・断面図

中期の古墳

たか だ かのんまえ

高田観音前 1 号墳

県道から藤枝岡部インターチェンジへ上がっていく道路付近

丘陵の先端部に 2 つの古墳が見つかりました。標高 47m、頂上が一番高いところにある 1 号墳は、地形を活かして墳丘を整えた円墳で、大きさは南北 13.6m、東西 12.3m です。墳丘の南側には、ごく浅い周溝を設けて、古墳と丘陵を区切っています。

埋葬を行った主体部は南北方向を向いており、木棺（木製の棺）で幅約 0.8 m、長さ約 3.4m ありました。地山を、幅約 2 m 長さ 3.9m の長方形に掘り、土の上に直接棺を置いた「木棺直葬」です。

棺内の北側に、配列された土師器が置かれ、鉄鉾、大刀、などの鉄製武器類などが副葬されていました。土師器は、高杯を縦に 3 個ずつ 2 列に並べ、その横に高杯に載せた壺、という配置でみつかっています。お供え物などを載せて、埋葬にあたって儀式をおこなった様子をあらわしているのでしょうか。



高田観音前 1 号墳（右）・2 号墳（左）



高田観音前 1 号墳

後期初頭の古墳

高田観音前 2 号墳

高田観音前 1 号墳の南側の丘陵先端部に、前方後円墳（高田観音前 2 号墳）が築かれていました。

地形を最大限に活かして墳丘を整え、前方部を北側に向け、丘陵南側の先端部に位置するところが後円部になっています。

前方部の裾には、周溝を掘って、円筒埴輪が並べていました。古墳の聖域を示すものと考えられます。別の場所からは鶏形埴輪、人物埴輪の一部とみられるものなどもみつかっています。志太地域では、埴輪をもつ事例は希少です。埋葬を行った主体部は、木棺直葬で、副葬品は大刀、鉄鏃、胡籥（矢を入れる容器）の金具など鉄製武器類が中心でした。

志太地域は、後期に入って 6 世紀初頭に、近畿地方の文化を取り入れ、前方後円墳が登場しました。



高田観音前 2 号墳



高田観音前 2 号墳円筒埴輪列



花會大柳土墳